

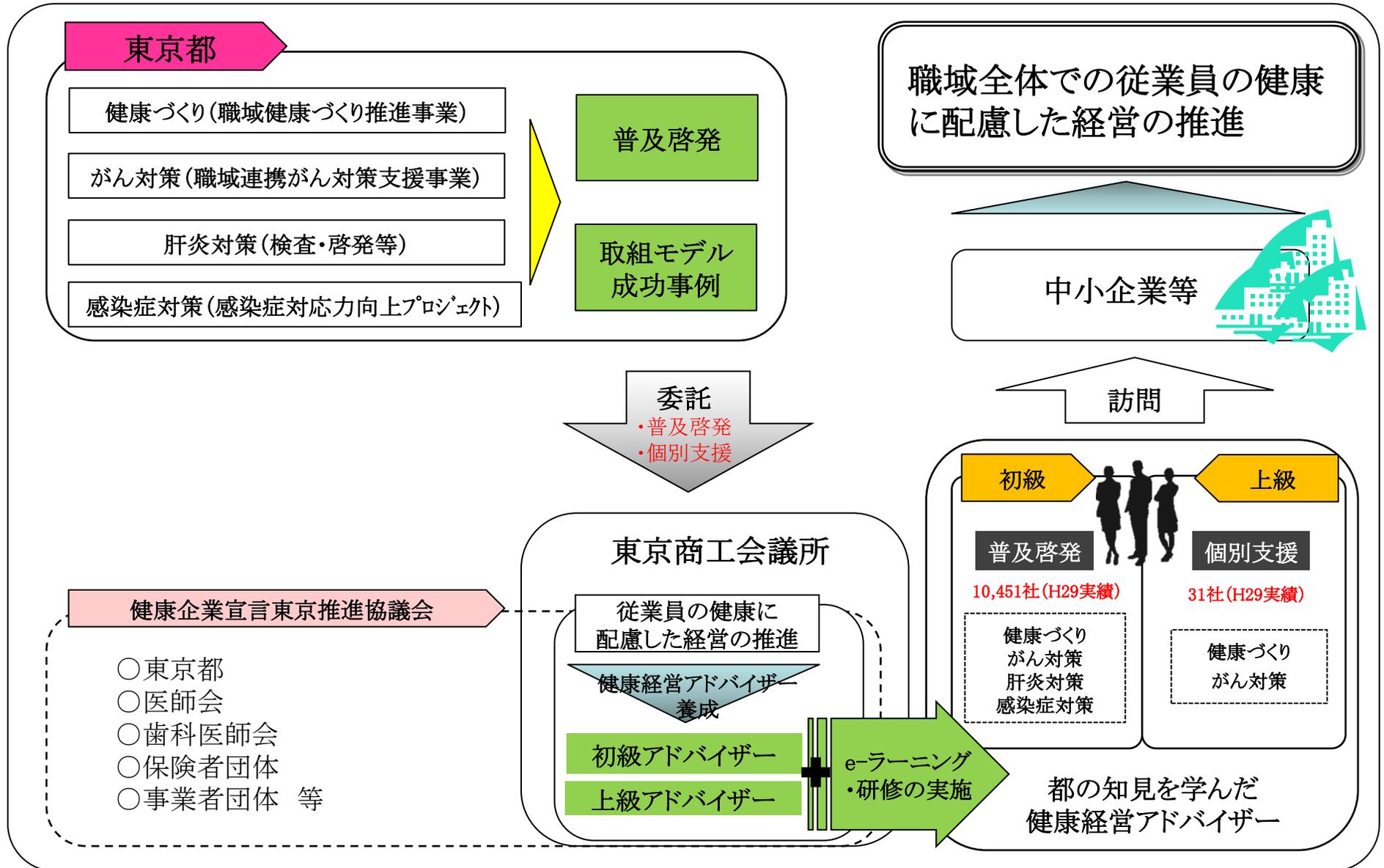
肝炎対策の取組実績等について

普及啓発について

1 肝炎に関する普及啓発

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
世界(日本)肝炎デー 及び肝臓週間における 普及啓発		都庁舎内における受検勧奨等パネル展の開催					
		「広報東京都」「月刊福祉保健」への受検勧奨等記事の掲載					
		ラジオ(TBSラジオ「都民ニュース」)放送による受検勧奨					
		MXテレビ「TOKYOインフォメーション」放送による受検勧奨(平成26年度は未実施)					
		「とうきょう健康ステーション」(ホームページ)内にて 肝炎に関する説明ページの掲載					
		都庁舎内総合行事案内表示盤への受検勧奨					
		新宿西口「動く歩道南北掲示板」への受検勧奨等ポスター掲示					
		4号街路柱面ディスプレイへの受検勧奨等 ポスター掲示					
		ウイルス性肝炎早期発 見・治療キャンペーン					
		肝炎ウイルス検査 受検勧奨等に関する印刷物等の作 成・配布		都民向け	①リーフレットの作成・配布 (100,000部) →		
主な配布先: 区市町村、医 療機関等	①リーフレットの一部(継続) 改訂(165,000部) →			②ポスターの掲示(継続) (24年度作成11,300部)	③ポケットティッシュの配布 (継続)(24年度作成2,000個)		
職域向け	①チラシの配布 (75,000部)			①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 (100,000部)	①チラシの配布 (100,000部)
		主な配布先: 東京商工会 議所会員企 業、都内健康 保険組合等					

2 東京都職域健康促進サポート事業



肝炎ウイルス検査の実施体制の整備について

1 肝炎ウイルスの受検勧奨及び実施体制の整備

○肝炎ウイルス検査体制の整備と受検勧奨

(1) 医療保健政策区市町村包括補助事業(補助率:都1/2)

① 肝炎ウイルス検査受検勧奨事業

・受検勧奨リーフレット、個別勧奨リーフレット等の作成費用

② 肝炎ウイルス検査受検歴把握事業への補助(平成26年度より追加)

・肝炎ウイルス検査対象者の過去の受検歴の把握に係る費用

(2) 健康増進事業(補助率:国1/3、都1/3)

区市町村が実施する、40歳以上への肝炎ウイルス検査及び個別勧奨に係る経費

(3) 特定感染症検査等事業(補助率:国1/2)

都、区及び保健所設置市が実施する、健康増進事業対象者以外への肝炎ウイルス検査に係る経費

○肝炎ウイルス検査実績(平成25年度～平成29年度)

<B型>

	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	受診者数	陽性者数	陽性率												
健康増進事業	120,011	864	0.72%	113,132	778	0.69%	110,233	727	0.66%	97,037	601	0.62%	92,847	571	0.61%
特定感染症検査等事業	10,192	75	0.74%	10,038	85	0.85%	8,968	86	0.96%	10,673	79	0.74%	10,270	61	0.59%
計	130,203	939	0.72%	123,170	863	0.70%	119,201	813	0.68%	107,710	680	0.63%	103,117	632	0.61%

<C型>

	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	受診者数	陽性者数	陽性率												
健康増進事業	120,042	653	0.54%	113,205	578	0.51%	110,298	514	0.47%	97,106	408	0.42%	92,889	347	0.37%
特定感染症検査等事業	9,764	28	0.29%	9,566	21	0.22%	8,259	8	0.10%	9,202	13	0.14%	8,500	15	0.18%
計	129,806	681	0.52%	122,771	599	0.49%	118,557	522	0.44%	106,308	421	0.40%	101,389	362	0.36%

肝炎医療の提供体制及び人材育成について

1 肝炎診療ネットワークの充実

(1) 医療機関の指定

○東京都肝疾患診療連携拠点病院の指定

都の肝炎対策の中心的役割

(2か所)

- ・虎の門病院
- ・武蔵野赤十字病院

○東京都幹事医療機関の指定

地域における中核・指導的な医療機関

(11か所)

- ・東京慈恵会医科大学附属病院
- ・慶應義塾大学病院
- ・東京女子医科大学病院
- ・順天堂大学医学部附属順天堂医院
- ・東京医科歯科大学医学部附属病院
- ・東京大学医学部附属病院
- ・日本医科大学付属病院
- ・昭和大学病院
- ・東邦大学医療センター大森病院
- ・帝京大学医学部附属病院
- ・日本大学医学部附属板橋病院

○東京都肝臓専門医療機関の指定

社団法人日本肝臓学会理事長から認定をうけた肝臓専門医又は指導医が在籍
毎月更新し、東京都ホームページで公表

- ・都内 375か所
- ・都外 238か所

合計613か所(平成31年3月1日現在)

* 東京都肝疾患診療連携拠点病院、東京都幹事医療機関を含む

(2) 肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会の開催

肝疾患診療連携拠点病院、幹事医療機関、都が、都内の肝炎等治療及び肝疾患診療連携拠点病院事業等について協議する。

<実績>

	回数(回)	幹事(事務局)
26年度	1	虎の門病院
27年度	1	武蔵野赤十字病院
28年度	1	虎の門病院
29年度	1	武蔵野赤十字病院
30年度	1	虎の門病院

<平成29年度詳細 事務局:武蔵野赤十字病院>

実施日時	場所	協議内容
平成29年10月17日(火) 18:30~20:00	東京都庁第二本庁舎31階特別会議室25	(1)東京都肝炎対策指針の改正について (2)東京都肝疾患診療連携拠点病院事業実績について (3)C型肝炎地域連携パスの運用について (4)職域向けウイルス性肝炎研修会(東京都肝疾患職域コーディネーターの養成)について (5)ウイルス肝炎治療効果判定調査(一次調査)について (6)ウイルス肝炎治療効果判定調査(二次調査)について (7)その他(国予算概算要求・定期検査費用助成・肝炎ウイルス検査啓発資材等)

<平成30年度詳細 事務局:虎の門病院>

実施日時	場所	協議内容
平成30年10月16日(火) 18:30~20:00	都庁第一本庁舎南側16階特別会議室S4	(1)東京都肝疾患診療連携拠点病院事業実績について (2)C型肝炎地域連携パスの運用について (3)職域向けウイルス性肝炎研修会(東京都肝疾患職域コーディネーターの養成)について (4)ウイルス肝炎治療効果判定調査(一次調査・二次調査)について (5)肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業について (6)その他(肝炎医療ナビゲーションシステム・知って、肝炎プロモーター制度)

(3) 肝炎専門医療従事者研修

肝炎治療等の医療水準の向上に資するため、医療従事者を対象に研修を実施する。

<実績>

	虎の門 病院		武蔵野 赤十字病院		合計	
	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)
26年度	3	270	3	173	6	443
27年度	3	215	3	232	6	447
28年度	3	320	3	183	6	503
29年度	3	359	3	171	6	530
30年度	3	360	2	76	5	436

*30年度は、4月～12月までの実績

<平成29年度・30年度(4月～12月分)実績詳細:虎の門病院>

実施日時	場所	参加者	講師・テーマ
平成29年5月21日(日) 14:00～16:00	UDX GALLERY 4階 NEXT-1	肝臓専門医療機関の医師及び地域のかかりつけ医等153名	肝臓撲滅への肝炎診療 1)『脂肪性肝疾患(Fatty liver disease)の、ここがポイント～日常診療での危険な脂肪肝の見分け方～』講師:虎の門病院 肝臓内科 川村 祐介 2)『ウイルス制御時代の肝疾患診療』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 小林 正宏
平成29年10月22日(日) 14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	肝臓専門医療機関の医師及び地域のかかりつけ医等96名	日常診療で直面する肝臓病の問題点～見落とさないためのポイント～ 1)『新しい肝臓診療時代における画像診断』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 齊藤 聡 2)『脂肪肝と生活習慣病との関連』講師:虎の門病院 附属健康管理センター統括センター長 荒瀬 康司
平成29年11月26日(日) 14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	肝臓専門医療機関の医師及び地域のかかりつけ医等110名	変貌する肝炎治療の動向～ウイルス性肝炎から脂肪性肝疾患まで～ 1)『C型肝炎・NASH～治療の実態と今後の展望～』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 芥田 憲夫 2)『B型肝炎治療のup-to-date』講師:虎の門病院 肝臓内科部長 鈴木 文孝
平成30年5月13日(日) 14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	医療従事者 138名	見逃せない肝臓病のピットホール 1)『ハイリスク脂肪性肝疾患(Fatty Liver Disease)の見分け方～肝発癌におけるアルコール摂取・肝線維化進展の影響～』講師:虎の門病院 肝臓内科 川村 祐介 2)『肝臓の画像診断 最新トレンド』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 齊藤 聡
平成30年7月1日(日)14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	医療従事者 105名	転換期を迎えた肝炎診療 1)『高齢化社会におけるウイルス性肝炎・NASH診療～治療の実態と今後の展望～』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 芥田 憲夫 2)『抗ウイルス療法、新規分子標的薬の登場で変わりゆく肝臓診療』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 小林 正宏
平成30年10月14日(日) 14:00～16:00	赤坂インターシティコンファレンス	医療従事者 117名	『ウイルス性肝炎診療を極める』 1)『究極の進化を遂げたC型肝炎治療とSVR後の課題』講師:瀬崎 ひとみ(虎の門病院 肝臓内科) 2)『B型肝炎治療のup-to-date』講師:鈴木 文孝(虎の門病院 肝臓内科部長)

<平成29年度・30年度(4月～12月分)実績詳細:武蔵野赤十字病院>

実施日時	場所	参加者	講師・テーマ
平成29年7月9日(日) 14:00～16:00	新宿エルタワー	医療従事者 83名	「B型肝炎の最新情報」四柳 宏(東京大学医科学研究所 感染症分野教授) 「肝臓と栄養・脂肪肝のトピックス」黒崎 雅之(武蔵野赤十字病院 消化器科部長) 「仕事と治療を両立させるための医療者の役割～C型肝炎治療を含めて」板倉 潤(武蔵野赤十字病院 消化器科副部長)
平成29年9月24日(日) 14:00～16:00	府中市市民活動センター「プラッツ」	医療従事者 45名	「肝臓につながる怖い脂肪肝」徳重 克年(東京女子医科大学 消化器内科教授・講座主任) 「ウイルス性肝炎の最新の治療と今後の課題」玉城 信治(武蔵野赤十字病院 消化器科) 「仕事と治療を両立させるための医療者の役割」板倉 潤(武蔵野赤十字病院 消化器科副部長)
平成30年1月28日(日) 14:00～16:00	武蔵野スイングホール	医療従事者 43名	「仕事と治療の両立支援について」立石 清一郎(産業医科大学保健センター副センター長) 「ウイルス肝炎治療の最新情報」黒崎 雅之(武蔵野赤十字病院 消化器科 部長) 「STOP!脂肪肝」板倉 潤(武蔵野赤十字病院 消化器科副部長)
平成30年7月8日(日) 14:00～16:00	新宿エルタワー	医療従事者 54名	・ウイルス性肝炎治療と治療後の問題点 日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学 神田 達郎 ・脂肪肝の診断、治療、生活指導 武蔵野赤十字病院 消化器科部長 黒崎 雅之 ・仕事と治療を両立させるための医療者の役割 ～C型肝炎治療を含めて 武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 板倉 潤
平成30年9月30日(日) 14:00～16:00	府中市市民活動センター「プラッツ」	医療従事者 22名	・ウイルス性肝疾患の現状・治療について 日本医科大学 消化器内科 厚川 正則 ・肝硬変の治療とサルコペニア 武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 中西 裕之 ・脂肪肝と日常生活 武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 板倉 潤

(4) 健康管理手帳の作成・配布

肝炎の病態、治療方法、肝炎医療に関する制度等を記載した手帳を作成・配布し、適切な治療を促進する。

<主な配布先>

都内肝臓専門医療機関、都内診療所、健康保険組合、区市町村等

<作成部数>

	B型	C型
26年度	26,000	26,000
27年度	26,000	26,000
28年度	26,000	26,000
29年度	26,000	26,000
30年度	26,000	26,000

(5) C型肝炎地域連携パスの運用 (C型肝炎ウイルス肝炎地域連携推進事業)

○概要

C型肝炎においては、従来の治療法(インターフェロン治療)よりも副作用が少なく、治療効果の高い治療法(インターフェロンフリー治療)が進展し、適切な治療とウイルス排除後の継続観察により、肝がんなどの病態悪化を早期発見・治療することが重要となっている。

肝炎診療ネットワークにおいては、かかりつけ医はC型肝炎検査陽性者等を肝臓専門医療機関につなぎ、治療後は診療情報を共有するなど連携しているところであるが、C型肝炎のインターフェロンフリー治療における一層の連携強化を図るため、平成29年7月からC型肝炎地域連携パス(「肝臓手帳」)を運用している。

○事業内容

かかりつけ医がC型肝炎ウイルス検査陽性者等を肝臓専門医療機関につなぎ、肝臓専門医療機関が地域連携パスを発行し、登録する。治療終了後は、地域連携パスを活用し、かかりつけ医、肝臓専門医療機関の双方で継続観察を行う。地域連携パス登録者については、肝臓専門医療機関を通じ、毎年度12月に追跡調査を行う。運営主体は東京都肝疾患診療連携拠点病院(武蔵野赤十字病院、虎ノ門病院)。

○平成30年度東京都肝炎対策実施計画における数値目標

登録数 730人

○登録者数及び追跡調査結果(人)

	平成29年度※1	平成30年度※1
新規登録数	573	314
かかりつけ医等から肝臓専門医療機関へ紹介数	64	80
累計登録者数	573	885※2
治療後のウイルス排除数	422	750
治療後のウイルス排除のうち肝がん発生数	15	47

※1 平成29年度は7月～11月、平成30年度は平成29年12月～平成30年11月

※2 追跡調査によりインターフェロン治療によるウイルス排除と判明した者2人を除く

○C型肝炎地域連携パス協議会の開催(平成30年7月12日)

(参加者) 地区医師会代表者、東京都肝疾患診療連携拠点病院、東京都

(議題) 平成29年度地域連携パスの運用状況報告、連携パスの運用におけるかかりつけ医の役割、C型肝炎ウイルス肝炎治療の現状、検査費・治療費助成制度 等

○肝臓専門医療機関への協力依頼

都内の肝臓専門医療機関に対し、東京都から個別に協力依頼文書を送付し、肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会において幹事医療機関に対し協力を依頼。

2 ウイルス性肝炎重症化予防の推進 (ウイルス性肝炎重症化予防事業)

(1) 初回精密検査

・陽性者フォローアップ事業

区市町村に対し、陽性者の定期的な受診勧奨を行うなどのフォローアップ事業の円滑な推進のため、リーフレットを作成するなどの支援をするとともに、都保健所及び職域が実施する肝炎ウイルス検査の陽性者へのフォローアップを実施する。

・検査費用助成事業

区市町村又は東京都保健所が実施した肝炎ウイルス検査で陽性と判定された後、初めて受ける精密検査費用について助成する(助成回数1回)。

<助成決定状況(件)>

	助成件数	
平成26年度	38	*平成26年10月20日受付開始
平成27年度	197	
平成28年度	137	
平成29年度	94	
平成30年度	85	*平成30年度は、4月～12月までの実績

(2) 定期検査

・陽性者フォローアップ事業

定期検査費用の助成により把握した肝炎患者に対し、医療機関の受診や受療状況等を確認し、受診の継続を促す。

・検査費用助成事業

肝炎ウイルスによる慢性肝炎・肝硬変・肝がんで療養中であり、定期的に受ける検査について助成する(助成回数年2回)。

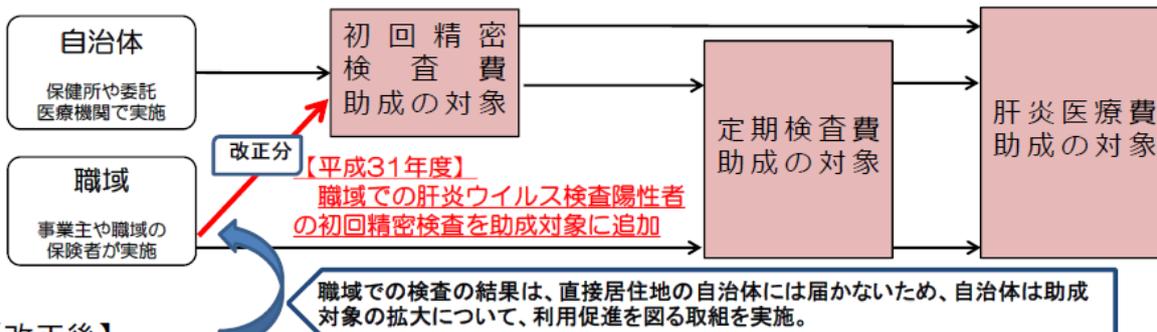
<助成決定状況(件)>

	助成件数	
平成26年度	3	*平成26年10月20日受付開始
平成27年度	21	
平成28年度	23	
平成29年度	40	
平成30年度	43	*平成30年度は、4月～12月までの実績

重症化予防推進事業～初回精密検査の対象範囲を職域検査へ拡大

肝炎患者等の重症化予防推進事業 平成31年度予算案 21億円(21億円)

【現行制度】初回精密検査費用の助成は、自治体検査で陽性となった者を対象としている。(都道府県事業)



【改正後】

職域の肝炎ウイルス検査で陽性となった者を初回精密検査の助成対象とすることで、これまでカバーしきれていない層にアプローチする(※費用負担:国1/2、都道府県1/2)。

【職域健診からの初回精密検査請求手続きについて】(案)

【初回精密検査費用の請求に必要な書類】

- 請求書、検診機関の領収書、診療明細書、肝炎ウイルス検査結果通知書(通知書によって職域健診での実施であることを確認することができない場合は、本人同意を得て検診機関に照会。)、必要な場合にフォローアップ事業参加同意書

【請求の手続きにおける留意点】

- 助成の条件となるフォローアップ事業参加同意については、①費用の請求時に合わせて同意書を提出する、②検診機関が職域健診での陽性者に事業案内を行って、陽性者がフォローアップ参加申込みを行う、③検診機関が職域健診での陽性者を都道府県等に情報提供し、都道府県等からフォローアップ同意取得を行う、の方法から任意に採用したのものにより実施することを検討。

【重症化予防推進事業の通知改正箇所】

- 「4 陽性者フォローアップ事業」(1)陽性者のフォローアップ、(2)初回精密検査費用及び定期検査費用の助成②対象者、⑤検査費用の請求、別紙様式例4等

3 肝炎医療費助成の実施 (B型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成制度)

○概要

B型・C型ウイルス肝炎のインターフェロン治療、B型ウイルス肝炎の核酸アナログ製剤治療及びC型ウイルス肝炎のインターフェロンフリー治療を行う者を対象として、医療費の一部を助成し、患者の経済的負担の軽減により早期治療の促進を図る。

○新規認定状況

(単位:件)

	インターフェロン			B型核酸アナログ (更新含む)	インターフェロン フリー (再治療含む)
	単剤・2剤	3剤併用	合計		
26年度	433	930	1,363	4,553	1,300
27年度	188	111	299	5,632	7,666
28年度	77	5	82	5,730	4,273
29年度	37	0	37	6,330	2,646
30年度	34	0	34	4,829	1,846

*30年度は、4月～12月までの実績

4 治療効果の研究 (ウイルス肝炎治療効果判定調査)

○研究名

国際医療研究開発費「ウイルス性肝疾患に関する全国規模のデータベース構築および肝炎医療の均てん化に資する研究」

○趣旨

IFN-free 経口抗 HCV 剤治療に係る公費助成を受けた C 型肝炎患者に関する全国規模のデータベース構築により、経口抗ウイルス剤治療における薬剤耐性ウイルスの治療前潜在による著効率低下、治療後出現による多剤耐性化リスクなど、解決されるべき課題について検証するとともに、診療レベルが全国で均てん化されているか等、今後の肝炎対策のあり方に提言できるような解析・研究を行う。

○調査対象

都道府県で行われている「C 型肝炎ウイルス肝炎治療医療費助成制度」の認定患者で、治療効果判定がすでに可能な患者

○集計機関

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

○調査項目

性別、生年月日、治療期間、診断名、使用薬剤、インターフェロン治療歴の有無、肝がんの既往の有無、有りの場合に肝がん治療終了後の経過期間、C型肝炎ウイルスマーカー、血液検査結果、薬剤耐性変異、ウイルス学的判定、経口剤治療状況、肝炎治療の医療連携に関する項目 等

(参考)平成21年度～27年度

厚生労働科学研究費補助金・肝炎等克服政策研究事業「全国規模インターフェロン・データベースの二次利用による今後の肝炎対策のあり方に資する研究」に基づき、インターフェロン治療の効果判定調査を実施。全国から28,855事例を収集、うち東京都は2,025事例を占める。

5 肝がん・重度肝硬変治療研究の促進

(肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業)

国の事業概要

○目的

B型C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の特徴を踏まえ、患者の医療費の負担の軽減を図りつつ、患者からの臨床データを収集し、肝がん・重度肝硬変の予後の改善や生活の質の向上、肝がんの再発の抑制などを目指した、肝がん・重度肝硬変治療にかかるガイドラインの作成など、肝がん・重度肝硬変の治療研究を促進するための仕組みを構築する。

○実施主体

都道府県

○対象者

B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者(年収約370万円未満を対象)

○対象医療

肝がん・重度肝硬変の入院医療とし、過去1年間で高額療養費の限度額を超えた月が4か月を超えた場合に、4か月目以降に高額療養費の限度額を超えた月に係る医療費に対し、公費負担を行う。

○自己負担限度額

1万円

○財源負担

国1/2 都1/2

都における事業実施

○事業開始

平成30年12月

○自己負担限度額

国の1万円に加え、住民非課税世帯に対しては、自己負担額をなしとする。

対象者		助成回数	患者負担限度額(月額)		
			助成前	助成後(国)	助成後(都)
70歳未満	年収約370万円未満	1～3回	57,600円	10,000円	10,000円
		4回～※	44,400円		
	住民税非課税世帯	1～3回	35,400円	10,000円	0円
		4回～※	24,600円		
70歳以上	年収約370万円未満	1～3回	57,600円	10,000円	10,000円
		4回～※	44,400円		
	住民税非課税世帯Ⅱ	/	24,600円	10,000円	0円
	住民税非課税世帯Ⅰ		15,000円		

* 同一の指定医療機関への入院の場合のみ適用あり

○都内所在の指定医療機関数

64か所(平成31年3月25日現在)

6 職場での肝炎対策の理解推進 (職域向けウイルス性肝炎研修会)

○目的

職域の健康管理担当者等を対象に、ウイルス性肝炎や肝炎対策についての知識を持ち、職域において肝炎の基礎知識や肝炎患者等への偏見の解消、仕事と治療の両立への理解等について普及啓発を行う人材を養成する。また、従業員の肝炎ウイルス検査の受検・検査陽性者の早期受診・肝炎患者の受療を促進するとともに、従業員の仕事と治療を両立するための相談・支援を行う人材を養成する。

○活動内容

- ・事業主、人事管理部門、従業員への普及啓発
- ・職域の健康診断等における肝炎ウイルス検査の受検勧奨及び肝炎患者等への受診勧奨
- ・肝炎患者等が治療を受けながら仕事を続けるための職場環境の整備
- ・肝疾患職域コーディネーターの基本的な役割を果たすために必要な活動
 - * 1人で全ての役割を担うのではなく、それぞれの業務の強みを活かして、職域の各部署との連携を図り、従業員の健康管理をサポートする。
 - * 職域における個人情報保護を徹底する。

○30年度実績

【コーディネーター養成コースⅠ】半日×2回(人事労務担当者等の医療関係の資格を持たない者が対象)

受講者	37人
-----	-----

【コーディネーター養成コースⅡ】半日×2回(産業医、保健師等の医療関係の資格を持つ者が対象)

受講者	73人
-----	-----

コーディネーター養成数(Ⅰ+Ⅱ)

合計	110人
----	------

○29年度からの主な変更点

- ・医療関係の資格の有無によりコースを分離
- ・定員数を変更
- ・両コースとも研修を修了した者に、「東京都肝疾患職域コーディネーター認定証」を交付

(参考)29年度まで

【基礎コース】半日×2回(同内容を2回実施。いずれか1回を受講)(医療関係の資格を問わない)

	26年度	27年度	28年度	29年度
受講者	116人	86人	130人	104人

【コーディネーター養成コース】半日×2回(基礎コース終了者が対象、2回とも受講)(原則、医療関係の資格を持つ者)

年度	26年度	27年度	28年度	29年度
受講者	45人	24人	41人	34人

⇒「東京都肝疾患職域コーディネーター認定証」を交付

肝炎患者等への支援について

1 肝疾患相談センターの運営

肝炎患者及びその家族等からの相談等に対応するため、肝疾患診療連携拠点病院内に肝疾患相談センターを設置し、電話及び面談による相談対応を行う。

<相談件数実績>

	虎の門 病院	武蔵野 赤十字病院	合計(件)
26年度	1,363	822	2,185
27年度	1,279	909	2,188
28年度	1,151	655	1,806
29年度	1,466	601	2,067
30年度	999	269	1,268

*30年度は、4月～12月までの実績

<平成29年度実績(詳細)>

(1)相談者別実績

相談者分類	平成29年度 相談件数	拠点病院別		平成28年度 相談件数
		虎の門病院	武蔵野赤十字 病院	
患者本人	1,298	976	322	1,180
家族・知人	289	153	136	254
患者計	1,587	1,129	458	1,434
医療従事者等	480	337	143	372
合計	2,067	1,466	601	1,806

*本人+家族の相談3件あり

(2)居住地別(患者・医療機関)

地域	都 内			都外	その他・不明	計	
	特別区	多摩地域	その他・不明				
件数	922	324	27	371	420	2,064	
拠点病院別	虎の門病院	858	81	3	322	202	1,466
	武蔵野赤十字 病院	64	243	24	49	218	598

(3)内容別実績(重複計上)

相談内容分類別	平成29年度 相談件数	拠点病院別		平成28年度 相談件数
		虎の門病院	武蔵野赤十字 病院	
疾患・治療	593	312	281	735
ウイルス肝炎	339	181	158	434
肝硬変・肝がん	132	71	61	178
その他の肝疾患	122	60	62	123
制度	739	622	117	561
医療費助成	530	462	68	390
被害者救済関連	175	137	38	127
肝炎検診その他	34	23	11	44
受療先	169	147	22	161
その他	926	618	308	767
合計	2,427	1,699	728	2,224

(4)情報提供

虎の門病院	ホームページ 作成	http://www.toranomon.gr.jp/kanzo/ として、都HP他からリンクし、肝炎の基礎知識や講演会などの情報を患者・医療者双方に継続して発信した。また、今年度より研修会や肝臓病教室の開催予告を国立研究開発法人国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター肝炎情報センターのfacebookアカウント(https://www.facebook.com/kanen.ncgm/)に掲載。事後報告や啓発事業の成果等を同じく肝炎情報センターのホームページ(http://www.kanen.ncgm.go.jp)にて紹介した。
	リーフレット等 作成	肝疾患相談センターのポスターをリニューアルし、A4縮小版を1階相談窓口や、6月の市民公開講座および年6回の肝臓病教室にて配布した。オリジナルグッズ(ネーム入りメジャー500個・ボールペン1000本)配布(ネーム入り万歩計700個・クリアファイル1000枚)作成した。
武蔵野赤 十字病院	ホームページ 作成	・周知拡大のため、ツイッターアカウントを取得 ・肝臓病について及び医療費助成のページを一部改定 ・肝臓病教室だよりを数回分まとめて掲載出来るように該当ページを改定
	リーフレット等 作成	・肝疾患相談センター周知のため、ロゴと電話番号の入った名刺ポケット付きクリアファイル→市民公開講座や患者さんの集まるイベント等で配布

<平成30年度(4月～12月分)実績(詳細)>

(1)相談者別実績

相談者分類	平成30年度 相談件数	拠点病院別	
		虎の門病院	武蔵野赤十字 病院
患者本人	864	668	196
家族・知人	152	99	53
患者計	1,016	767	249
医療従事者等	252	232	20
合計	1,268	999	269

(2)居住地別(患者・医療機関)

地域	都 内			都外	その他・不明	計
	特別区	多摩地域	その他・不明			
件数	576	161	4	246	281	1,268
拠点病院別	虎の門病院	532	59	1	217	999
	武蔵野赤十字病院	44	102	3	29	269

(3)内容別実績(重複計上)

相談内容分類別	平成30年度 相談件数	拠点病院別	
		虎の門病院	武蔵野赤十字 病院
疾患・治療	382	187	195
ウイルス肝炎	238	118	120
肝硬変・肝がん	85	54	31
その他の肝疾患	59	15	44
制度	344	310	34
医療費助成	246	229	17
被害者救済関連	79	72	7
肝炎検診その他	19	9	10
受療先	101	83	18
その他	570	522	48
合計	1,397	1,102	295

2 患者向け講演会

患者のニーズにあった講演会を実施する。

<開催実績>

	虎の門病院		武蔵野赤十字病院		合計	
	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)
26年度	1	289	1	219	2	508
27年度	1	266	1	194	2	460
28年度	1	101	1	160	2	261
29年度	1	431	1	163	2	594
30年度	1	820	1	113	2	933

<平成29年度・30年度(4月～12月分)詳細:虎の門病院>

平成29年 6月24日(土) 13:00～ 15:30	銀座プロ サム 中央 会館	一般市民431 名	放っておけない肝臓病 ～あなたの肝臓、大丈夫?～ 1)『高齢化社会におけるC型肝炎治療』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 芥田 憲夫 2)『B型肝炎慢性肝臓治療の最新の治療成績』講師:虎の門病院 肝臓内科部長 鈴木 義之 3)『非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)の食事療法～治療の基本は食事と運動です～』講 師:虎の門病院 栄養部 管理栄養士 大道 美佐子 4)『脂肪肝と生活習慣病の連関』講師:虎の門病院 附属健康管理センター 統括センター長 荒 瀬 康司
平成30年9月 1日(土) 13:30～ 16:00	浅草公会 堂	一般都民820 名	肝臓病に負けない いきいきライフ～肝臓の声聞いてみよう～ 1)『もしも、脂肪肝と言われたら..皆さんどうされますか?～正しい知識と、対処法を学びましょう～』 講師:虎の門病院 肝臓内科 川村 祐介 2)『脂肪肝の食事療法 -生活習慣を見直そう-』講師:虎の門病院 栄養部 管理栄養士 小清水 孝彦 3)『高齢化社会におけるウイルス性肝炎診療-治療の実態と今後の展望-』講師:虎の門病院 肝 臓内科医長 芥田 憲夫 4)『治療や介護を続けながら働き続けるために-さまざまな制度活用のポイント-』講師:東京都社 会保険労務士会 がん患者・障がい者等就労支援特別委員会 藤田 久子

<平成29年度・30年度(4月～12月分)詳細:武蔵野赤十字病院>

平成29年 7月30日(日) 14:00～ 16:00	武蔵野公 会堂	一般都民163 名	1.肝疾患に関する新しい支援のしくみ ①仕事をしながら治療する支援 泉 並木(日本肝臓学会 理事/武蔵野赤十字病院 院長 2.ウイルス性肝炎のトピックス ①C型肝炎治療のポイントとウイルスが消えた後の注意点 玉城 信治(武蔵野赤十字病院 消化 器科) ②B型肝炎は、どの薬でいつ治療するべきか 板倉 潤(武蔵野赤十字病院 消化器科副部長) 3.これから注目すべき肝臓と栄養の関係 ①脂肪肝とサルコペニア 黒崎 雅之(武蔵野赤十字病院 消化器科部長) ②肝臓病に負けない食事療法 佐々木 佳奈恵(武蔵野赤十字病院 栄養課係長管理栄養士) 4.ますます進歩する肝がんの治療 安井 豊(武蔵野赤十字病院 消化器科)
平成30年7 月29日(日) 14:00～ 16:00	武蔵野公 会堂	一般都民113 名	1.肝臓病を治療するための「支援のしくみ」日本肝臓学会 理事/武蔵野赤十字病院 院長 泉 並木 2.「ウイルス性肝炎を克服する」大事なポイント武蔵野赤十字病院 消化器科 玉城 信治 3.いま増えている「ウイルスのいない肝がん」にならないために 武蔵野赤十字病院 消化器科部 長 黒崎 雅之 4.肝臓病に負けない「食事療法のコツ」武蔵野赤十字病院 栄養課 管理栄養士 遠藤 薫 5.さらに進歩した「肝がんの治療」武蔵野赤十字病院 消化器科副部長 土谷 薫

3 患者サロン

患者同士の仲間づくり、悩み等を共有できる患者交流の場を提供する。

<開催実績>

	虎の門病院		武蔵野赤十字病院		合計	
	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)
26年度	6	139	6	47	12	186
27年度	6	89	6	73	12	162
28年度	6	127	6	112	12	239
29年度	6	146	8	157	14	303
30年度	5	212	5	77	10	289

*30年度は、4月～12月までの実績

<平成29年度・30年度(4月～12月分)詳細:虎の門病院>

実施日時	場所	参加人数	主な話題
平成29年4月22日(土) 14:00～15:00	虎の門病院本館3階 講堂	26名	『検査に関する Q&A～肝臓病をよりよく理解するために～』講師:虎の門病院 肝臓内科部長 鈴木義之、他看護師2名、事務2名
平成29年5月13日(土) 14:00～15:00	虎の門病院本館8階第1会議室	23名	『ウイルス制御後に患者さんが注意すべきポイント』講師:虎の門病院 肝臓内科医長 小林正宏、肝臓内科部長 鈴木義之、他看護師1名、事務1名
平成29年6月17日(土) 14:00～15:00	虎の門病院本館3階 講堂	37名	『もしも、あなたの肝臓、脂肪肝ですねといわれたら～脂肪肝に対する正しい知識と、マネージメントを勉強しましょう～』講師:虎の門病院 肝臓内科 川村祐介、肝臓内科部長 鈴木義之、他看護師1名、事務2名
平成29年7月19日(水) 11:30～13:00	みなと保健所2階栄養指導室	14名	『脂肪肝を改善させるための食事教室』講師:虎の門病院 栄養部 大道 美佐子、他栄養士1名、看護師1名、事務1名
平成29年12月15日(金) 11:30～13:00	みなと保健所2階栄養指導室	17名	『脂肪肝を改善させるための食事教室』講師:虎の門病院 栄養部 大道美佐子、他看護師2名、事務1名
平成30年1月13日(土) 14:00～15:00	虎の門病院本館3階 講堂	29名	『さらなる進化をとげたC型肝炎治療～全ての方々の治癒を目指して～』講師:虎の門病院 肝臓内科部長鈴木義之、他看護師2名
平成30年4月7日(土) 14:00～15:00	虎の門病院本館3階 講堂	17名	『肝硬変の食事～腹水・肝性脳症を治療中の方へ～』講師:虎の門病院 栄養部 管理栄養士、助手1名他、医師1名、看護師2名、事務1名
平成30年4月14日(土) 14:00～15:00	虎の門病院本館8階第1会議室	30名	『もしも肝硬変ですねと言われたら』肝硬変とはどういった状態、良くなるの?悪くなるの?何を注意すればいいの?病態を正しく理解して、正しい対処法を学びましょう。講師:虎の門病院 川村祐介 他、看護師1名
平成30年6月16日(土) 14:00～15:00	虎の門病院本館3階 講堂	56名	『B型肝炎の最新情報』講師:虎の門病院 鈴木義之他、看護師2名
平成30年11月3日(土) 11:30～13:00	港区立男女平等参画センター(リープラ)学習室C、造形表現室、料理室	41名	『脂肪肝を改善させるための食事教室』講師:虎の門病院 栄養部 小清水孝彦他栄養士1名、看護師1名、事務2名、みなと保健所より栄養士1名
平成30年12月1日(土) 14:00～15:00	虎の門病院本館3階 講堂	68名	だれでもできる、どこでもできる『いまからできる、脂肪肝治療』…内臓脂肪を減らすために、自分に合った運動療法を一緒に考えてみましょう…講師:虎の門病院 川村祐介、鈴木義之他看護師2名、事務1名

<平成29年度・30年度(4月～12月分)詳細:武蔵野赤十字病院>

実施日時	場所	参加者	主な話題
平成29年5月13日(土) 11:00～ 12:30	院内1F中央採血室日赤ふれあい赤十字デ-内	11名	「始めましょう!元気が一番計画 2017 -肝臓病と運動-」質問/・体に負担をかけないように起き上がる方法は?・ふくらはぎのあたりがつつたり、こむらがえりを起こしたりしやすい時の何か良い方法は?など講師:伊東理学療法士、司会・進行:高橋相談員
平成29年6月28日(水) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	18名	「検査データから何が分る?」質問/・市の健診で引っ掛かったが、その後 市の医者にかかり異常なしと出た。測定法で違うのか?・肝臓がんに急になったので何か違う検査が今後あるのか?など講師:武田臨床検査技師、司会・進行:高橋相談員
平成29年9月1日(水) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	25名	「栄養治療の肝(きも)」質問/・肝機能が高いが、ノンアルコールを飲んでいてもそうなるのか?・ウコンのお茶を飲んでいるけど肝臓に良いのか?など講師:上野管理栄養士、司会・進行:高橋相談員
平成29年11月1日(水) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	26名	①「肝臓で知っておきたい制度の話」②「肝臓と薬～上手につきあっていくために～」質問/・肝臓がんの4ヶ月以降の入院医療費の自己負担が1万円になると言うのをもう1度教えて欲しい・マヴィレットはどんな薬なのか?など講師:①松田MSW、②宗山薬剤師、司会・進行:高橋相談員
平成29年12月12日(火) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	32名	①「肝臓病と糖尿病の密な関係」②「肝臓病と糖尿病のための食事の工夫について」質問/・甘い物の適量を教えて欲しい・飲料等に新しい甘味料が入っているものがあるが、それも同じ糖分と言うカウントになるのか?など講師:①早川医師、②遠藤栄養士、司会・進行:高橋相談員
平成30年1月18日(木) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	16名	「口と肝臓の意外な関係」質問/・肝疾患の患者が歯の治療でステロイドを使用する場合に治療方針が変わったりするか?・肝疾患のある人のインプラント治療について講師:道脇医師(口腔外科)
平成30年2月7日(水) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	7名	①「小児期における肝炎ウイルス対策」②「日常生活における感染対策」質問/・肝炎の人は妊娠・出産ができるか・ワクチンの抗体価が下がったら、また打つのか?講師:①長澤医師(小児科)、②広島看護師(感染管理認定看護師)
平成30年3月8日(木) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	22名	「脂肪大敵!」質問/・ほどほどの脂肪量とはどのくらいか?・脂肪肝の場合、その脂肪は取れたりなくなったりするのか?講師:板倉医師(副センター長)
平成30年5月31日(木) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	15名	テーマ「お医者さんが気になる肝臓のこと」質問/・HBVジェノタイプとは?・サプリメントは飲んででもよいのか?(肝臓への負担)・内臓脂肪は肝臓以外にも蓄積されるのか?講師:板倉副センター長、司会・進行:石宇相談員
平成30年6月27日(水) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	24名	テーマ「やさしい検査値の見方」質問/・総ビリルビンと直接ビリルビンの違い・血液検査の間隔はどのくらいが適正か?・エラストグラフィは保険適応ですか?エコーとの違いは?講師:古屋臨床検査技師、司会・進行:石宇相談員
平成30年9月7日(金) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	11名	テーマ「肝臓の様子を見ながらローテク生活の勧め」質問/・肝硬変の人はこむら返りが起きやすいと聞きました。こむら返りによい運動や生活習慣はありますか?・ジョギング30分と徒歩3時間だと、どちらが健康的(脂肪燃焼や血行促進)と言えますか?講師:伊東理学療法士、司会・進行:石宇相談員
平成30年11月8日(木) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	6名	テーマ「肝疾患治療におけるお金のあれこれ」「肝臓病の薬を正しく飲みましょう」質問/・アレルギーのある場合は、漢方薬は飲まない方がよいのか?・日赤の差額ベッド代はいくらですか?・開腹手術と腹腔鏡手術での治療費と入院日数は?講師:井出MSW、宗山薬剤師、司会・進行:石宇相談員
平成30年12月14日(金) 14:30～ 16:00	院内1F山崎記念講堂	21名	テーマ「肝臓病と糖尿病の関係」「肥満と肝臓病について～食事療法の肝～」質問/・太らないような間食の取り方について・自分に必要なカロリーについて講師:内分泌代謝科 佐伯医師、板坂管理栄養士、司会・進行:石宇相談員